

(様式3)

事業所名 グループホーム ひまわり

作成日: 平成 26 年 4 月 26 日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が2か月に1度定期的に行えるように検討するほか、ご家族の出席率を上げられるようにしていかなければならない。	運営推進会議の定期開催と、出席率向上に向けた開催日の検討、または内容の向上に努める。	家族や地域の方々へ開催日の連絡を早めにしていくことと、出席しやすい日を選定していく。また、会議の内容にも少しずつ工夫を取り入れてご家族なども発言、理解しやすい環境をつくっていく。	6ヶ月
2	10	ご家族の率直な意見が吸い上げられるように、定期的にご家族が集まる機会を設けていく必要がある。	家族会の開催をする。	ご家族へアンケートなども取り入れて、日時の選定をし、家族会の開催をする。半年に1回程度行えるように、取り組んでいく。	6ヶ月
3	19	ホームでの活動をまとめた広報やご利用者毎に生活の状況をまとめたお手紙の送付を定期的に行い、これまで以上にご家族にご利用者の情報を発信していく必要がある。	普段の様子を記した、広報を定期的に行い、ご家族へ生活の状況を伝える。	毎月、さまざまな行事を行い写真も多く撮っているため、それらをまとめた広報を発行していく。また送付の際には、各個人の現況と一緒に伝えられるようにしていく。	3ヶ月
4	23	介護計画に関するご家族からの意向確認をどのように行ったのが不明確である。記録等に残していく必要がある。	ご家族からの意向や面会時の会話などを記録に残していく。	面会時の家族との会話を記録に残していくことで、家族の意向をくみ取れるようにしていく。また、それを基に、面談等で家族に確認を取り記録に残していく。	4ヶ月
5	24	これまでの生活歴や暮らし方などもわかるように、フェイスシートの見直しをしていかなければならない。また、定期的な更新を行い、職員間でも情報の共有を図る必要がある。	フェイスシートの確認、更新をして、改めて各個人の情報の共有を図っていく。	早期にフェイスシートを見直し、更新をしていく。生活歴や暮らし方などは家族からの情報が必要となっていくので、面談などで聞いていく。	4ヶ月

(様式3)

事業所名 グループホーム ひまわり

作成日: 平成 26 年 4 月 26 日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	26	介護計画の評価、サービス担当者会議、介護計画の作成の順番が違っていたところがあり、改善の必要がある。	介護計画の評価の時期、担当者会議の時期などを前もって把握し、遅延や前後がしないように作成していく。	いつ頃、評価の時期なのか、担当者会議の時期なのか、わかりやすいように表やカレンダーなどにて記し、滞りが生じないように取り組んでいく。	6ヶ月
7	35	夜間を想定した避難訓練や地域の方への協力要請、非常食の確保なども検討し、災害時に適切な対応ができるようにしなければならない。	夜間想定をした避難訓練を行い、非常時の対応方法を習得していく。	現在、非常食を準備し設置。夜間想定をした避難訓練や、職員への連絡手段などを行い、適切な対応ができるように職員全体で取り組んでいく。また、地域の方へも協力要請ができるように地域との連携もできるように働き掛けていく。	6~12ヶ月
8	20	新入職員や異動職員のご家族への紹介を広報などを通して周知、そして良い関係を構築していく必要がある。	職員の名前や人柄などをご家族にもわかっていただく。	19番の項目と一緒に関連付けて取り組んでいき、ご家族により近い関係づくりができるように努めます。ご家族が職員の誰にでも話しやすい関係が作れるようにしていきます。	3ヶ月
9	11	職員会議の定期開催を行い、検討の場を増やしサービスの改善、向上につなげていく必要がある。	定期的な職員会議の開催。	職員会議を開催し現場職員の不安や戸惑い、新しい方法など様々な声を拾い、検討してより良いサービスの向上、改善に努めていきます。	2ヶ月
10	1	グループホームひまわりの理念を職員が共有し、具体的な取り組みができるように、検討していく必要がある。	理念を確認し、実践につなげられるようにしていく。	理念を共有して実践につなげる為にも、項目11の職員会議や情報共有、検討を行い、より良いサービスを考えていく。	6ヶ月